



第1回日本医療安全学会学術総会

チーム医療における統合と分化
— 院内多職種による臨床安全の向上をめざして —

2014年9月21日(日)～22日(月)
東京大学本郷キャンパス

事前配布資料

主催: 日本医療安全学会

後援

厚生労働省、東京都、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、
日本臨床工学技士会、日本歯科衛生士会、日本診療放射線技師会

連絡先

日本医療安全学会本部
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770
Email: lamt@jpscs.org

(全体構成)

会期

第1日 2014年9月21日(日)午前9時～午後8時30分

第2日 2014年9月22日(月)午前8時30分～午後6時

会場 (東京大学本郷キャンパス。東京都文京区本郷 7-3-1)

第1会場～第9会場::: 口演会場

第1会場	: 伊藤国際学術研究センター地下2階伊藤謝恩ホール	9月21日～22日。
第2会場	: 医学部鉄門記念講堂 (医学教育研究棟 14 階)	9月21日のみ。
第3会場	: 医学部2号館本館1階講堂	9月21日～22日。
第4会場	: 医学部2号館本館3階講堂	9月21日～22日。
第5会場	: 医学部1号館本館1階講堂	9月21日～22日。
第6会場	: 医学教育研究棟13階第6セミナー室	9月21日のみ。
第7会場	: 医学教育研究棟13階第7セミナー室	9月21日のみ。
第8会場	: 医学教育研究棟13階第8セミナー室	9月21日のみ。
第9会場	: 医学教育研究棟13階第5セミナー室	9月21日のみ。
第10会場	: 伊藤国際学術研究センター地下2階多目的ホール ポスター発表、懇親会、講師控え場、会員間交流、持参による飲食	9月21日～22日。
第11会場	: 伊藤国際学術研究センター地下2階ロビー 企業展示	9月21日～22日。
第12会場	: 伊藤国際学術研究センター地下2階控室(小) 講師控室	9月21日～22日。
第13会場	: 伊藤国際学術研究センター地下2階控室(大) 総会本部	9月21日～22日。

参加者受付は第1会場のみで行います。

受付開始: 両日とも午前8時。

一般演題(口演)は1題15分(質疑時間を含む)

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯にポスター会場(第10会場)で質疑応答をしてください。

一般演題から審査専攻される「医療安全賞」の賞状は、会議後2-3か月後にお知らせします。

理事会 : 9月20日午後3時～午後6時

会員総会・評議員総会 : 9月21日午後6時～6時30分

懇親会 : 9月21日午後6時30分～8時30分

(第9会場) 医学教育研究棟13階第5セミナー室

(第1会場) 伊藤国際学術研究センター地下2階謝恩ホール

(第10会場) 伊藤国際学術研究センター地下2階多目的ホール

学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々な複雑な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・評議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

(対象者)

医療従事者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、市民、その他。

参加費

参加費には抄録集(当日渡し)が含まれます。	日本医療安全学会の会員	学部学生	その他
事前申込参加費(5月10日～9月1日まで。非課税。懇親会費別)	9千円	4千円	1万2千円
当日申込参加費(非課税。懇親会費別)	1万1千円	6千円	1万4千円
懇親会(9月21日夕、税込)	6千円	6千円	6千円

大学院生は一般扱いです。学部学生の場合は学生証のコピーをFAXください。

(ご注意) キャンセルの際、参加費は返却されません。

代わりの方が参加できますので、申込者が捺印した変更届を当日にご持参ください。(様式は任意)

運営組織

会長組織:

- 総会長 出江 紳一 (東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野教授、同研究科長)
海野 雅浩 (東京医科歯科大学名誉教授、元歯学部副病院長)
橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長・院長補佐)
副会長 廣瀬 稔 (北里大学医療衛生部臨床工学教授)
酒井 基広 (東京女子医科大学付属病院、東京都臨床工学技士会会長)
井上 政昭 (株式会社スカイネット社長)

プログラム委員会:

医科医療安全分野、臨床医学安全分野、歯科医療安全分野、医療機器安全分野、
医薬品安全分野、看護安全分野、ならびにその他の関連分野、における理事・評議員、他

組織委員会: 会長組織、全理事、全評議員、その他

当日運営委員長: 宮本智行 (東京医科歯科大学)

後援:

厚生労働省、東京都、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本臨床工学技士会、日本
歯科衛生士会、日本診療放射線技師会

第1回 JPSCS 総会事務局:

日本医療安全学会本部内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770
Email: 1amt@jpscs.org

ご挨拶

第1回日本医療安全学会学術総会 共同会長

海野 雅浩（東京医科歯科大学名誉教授、元歯学部副病院長）

出江 紳一（東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野教授、同大学院医工学研究科長）

橋田 亨（神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長・院長補佐）

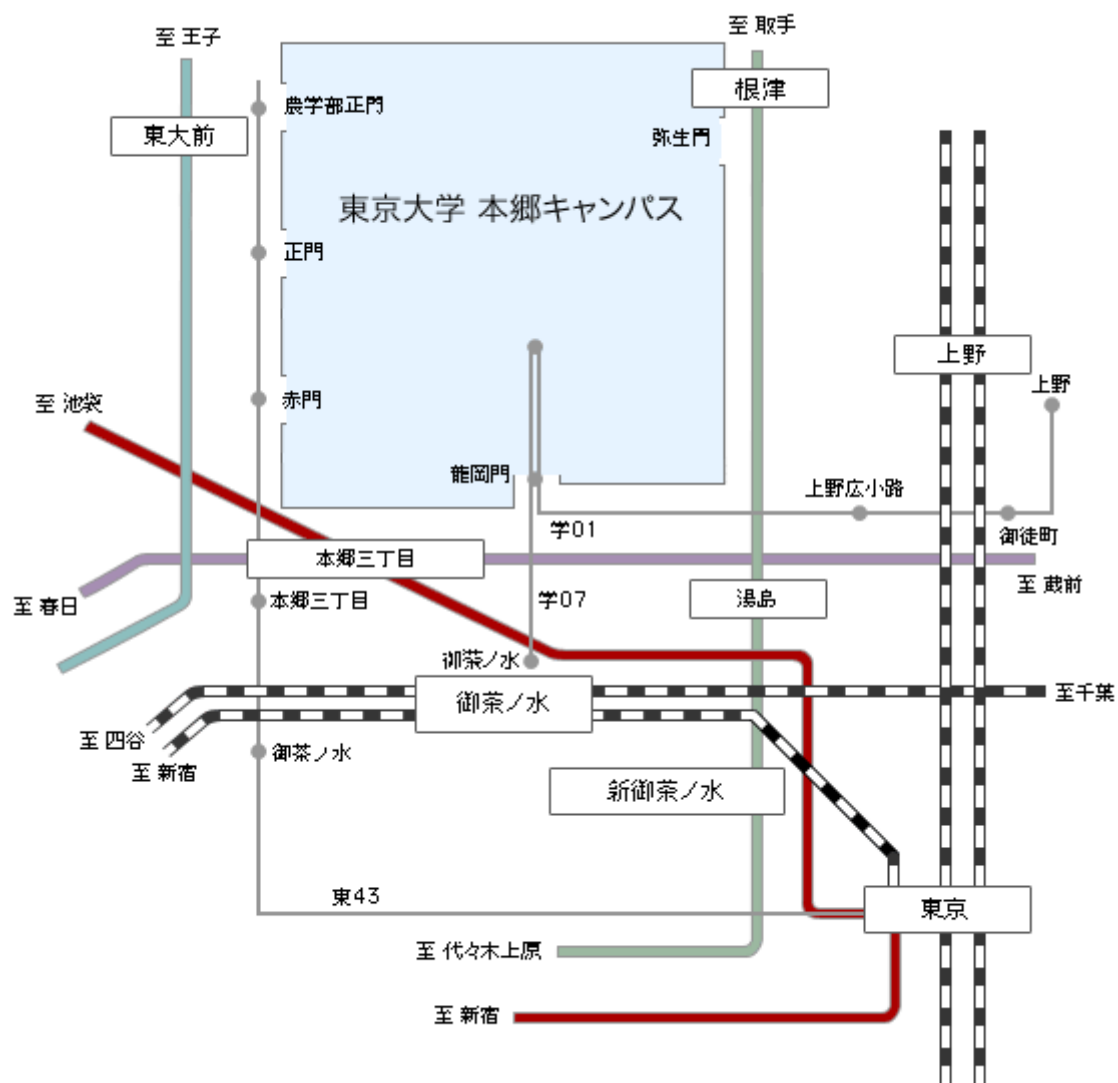
医療安全は医科医療安全、歯科医療安全、臨床医学安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全など多岐にわたり、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床工学士、放射線技師、臨床心理士などすべての医療職がそれぞれの専門分野での患者安全に携わっております。さらに、関連分野としてリスクマネジメント、品質管理、ヒューマンファクターと安全工学、臨床コミュニケーション、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計など多種多様な専門分野が医療安全を支えております。

医療の安全は専門職個人の努力だけで達成することはできません。関連する専門職の連携・協同作業が円滑に展開されることが不可欠です。お互いに情報を共有し協同・連携することが安全・安心の医療を作り上げます。

こうした多職種学際連携の観点から、医療安全文化の向上を図り、患者中心の医療を充実させることを目的として 2013 年 4 月に日本医療安全学会が発足いたしました。同年 8 月には東京大学において学会設立記念総会が開催され、さまざまな分野から多くの参加者が集い、熱心に討論を行いました。

この度、2014 年 9 月 21 日（日）、22 日（月）には第 1 回学術総会を東京大学において開催する運びとなりました。医療は年々高度化、細密化、複雑化、専門化しております。それに伴ってリスク要因も増えてまいります。日々増大する医療リスクに適切に対応し、医療の安全をいかに確保するかは医療人に不可欠な医療行為です。本学会はあらゆる分野の医療人に医療安全向上のための情報交換、学術討論、研究発表の機会を提供する場であり、本学会は専門領域での医療安全の強化、発展はいうまでもなく、学際的、多職種横断的な情報交換や医療安全のシステム作りを目指しております。多くの方々の参加を期待しております。

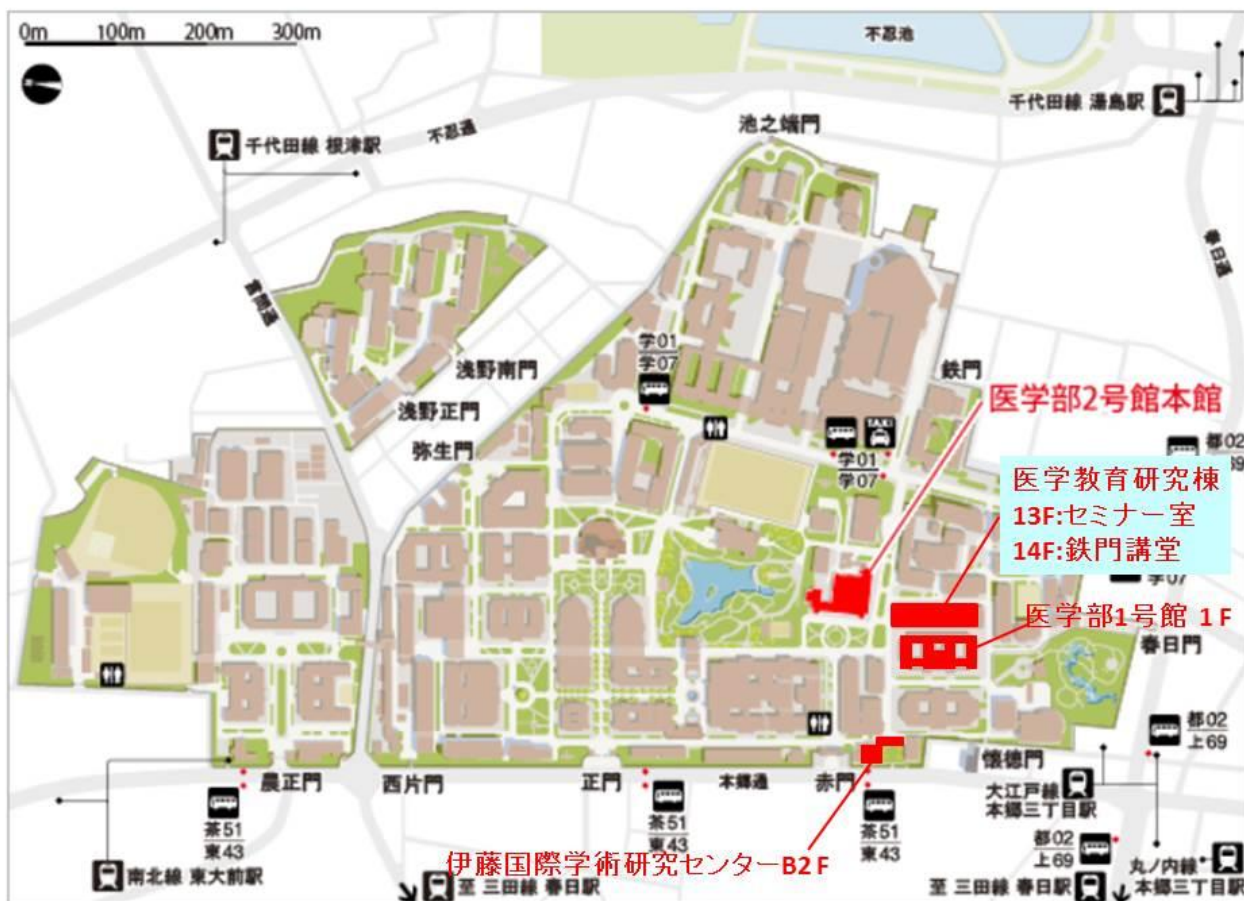
(交通案内)



(日程)

	9月21日午前	9月21日午後	9月22日午前	9月22日午後
第1会場	総会長挨拶 官庁講演(2題) 特別講演(2題) 事故報告(4題)	教育講演(2題) パネル討論会(2題)	教育講演(3題) パネル討論会(1題)	教育講演(1題) パネル討論会(2題)
第2会場	パネル討論会(2題)	パネル討論会(1題) 教育講演(2題)		
第3会場	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題) 教育講演(1題)	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題)
第4会場	一般演題口演	パネル討論会(2題) 一般演題口演	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題) 一般演題口演
第5会場	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題) 一般演題口演	パネル討論会(2題)	パネル討論会(2題) 一般演題口演
第6会場	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題)		
第7会場	一般演題口演	一般演題口演		
第8会場	パネル討論会(1題)	パネル討論会(2題)		
第9会場	一般演題口演	ワークショップ		
第10会場	ポスター発表	ポスター発表	ポスター発表	ポスター発表

(会場地図)



(飲食について)

昼食は安田講堂前広場地下の中央食堂が開いています。



伊藤国際学術研究センター地下2階多目的ホールでは、ご持参された飲食物のご利用が可能です。
その他の会場での飲食は一切禁止されています。

(懇親会)

日時: 2014年9月21日(日)午後6時～8時
会場: 東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階 多目的ホール
参加費: 6千円

東京を代表する高級レストラン「椿山荘」による特別会食です。

座長・座長・発表者の皆様へ

(座長・司会の先生方へ)

ご担当のセッションの開催会場 へ、セッション開始時間の三十分前までにご入場 ください。

(口演発表の方法)

発表者 は講演時間 の三十分前までに、各講演会場 にご入室ください。

Windows 7 マシン 一台をご利用できます。

プレゼンテーションデータ保管の USB メモリーをご持参ください。USB メモリーをご自身で PC に装着したのち、ご自身でご操作ください。 リモコン操作器具を用意いたします。

一般演題(口演)は1 題 15 分(質疑時間を含む)

(ポスター発表の方法)

会場 : 伊藤国際学術研究センター地下二階多目的ホール

9月21日 午前10時～午後5時: ポスター掲示時間

午後4時～午後5時: ポスター質疑応答

9月21日 午前10時～午後4時: ポスター掲示時間

午後 3 時～午後 4 時: ポスター質疑応答

一般演題(ポスター)の発表者は各日毎に定められた時間帯に当該ポスター前にて質疑応答ください。

ポスター掲示板に演題番号を掲示しますので、当該番号のポスター板面をご使用ください。

掲示板に掲載可能なポスターは A1 版縦長配置で、縦列二枚までです。

ポスター掲示用のスコッチテープ をご持参ください。

ポスター掲示終了後、ポスターをお持ち帰りください。

学術発表プログラム

(第1日)

2014年9月21日(日)

(第1会場) 9月21日 (伊藤国際学術研究センター地下2階謝恩ホール)
—— 医療安全 ——

受付開始 午前8時

午前9時15分 開会

午前9時15分～9時30分 総会共同会長 挨拶 (海野雅浩、出江紳一、橋田 亨)

午前9時30分～午前10時 官庁講演(1)

司会 海野雅浩 (総会共同会長、東京医科歯科大学名誉教授)

医療機器安全・医薬品安全の動向

片平 尚貴 (厚労省医薬食品局安全対策課副作用情報専門官)

午前10時～午前10時30分

特別講演(1)

日本医師会における医療安全への取り組み

横倉 義武 日本医師会会長

司会 出江紳一 (総会共同会長、東北大学大学院医工学研究科科長、教授)

午前10時30分～午前10時40分

特別講演(2)

看護師の医療安全に関する今後の抱負

菊池 令子 日本看護協会副会長 (日本看護協会会長 代理)

司会 出江紳一 (総会共同会長、東北大学大学院医工学研究科科長、教授)

午前10時40分～午前12時

医療事故・機器不具合の実態報告

各20分

司会 海野雅浩 (総会共同会長、東京医科歯科大学名誉教授)

橋田 亨 (総会共同会長、神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長・院長補佐)

歯科医療事故の実態報告

嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学歯学部病院長)

医療機器の不具合報告の現状

城谷 真理 (医薬品医療機器総合機構 医療機器安全課長)

医薬品事故の実態調査報告

下堂 蘭 権洋 (鹿児島大学歯学部附属病院薬剤部)

医療事故の実態調査

松村 由美 (京大病院医療安全管理室室長)

午前12時～午後1時

昼食

午後1時～午後1時30分

教育講演(1)

「政府医療事故調の制度について」

長尾 能雅 (名古屋大学附属病院副院長、同医療の質と安全部教授)

午後1時30分～午後2時

教育講演(2)

「ご遺体解剖して良かった医療事故の事例」

深山 正久 (日本病理学会理事長、東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学分野教授)

午後2時～午後3時30分

医療安全パネル討論会(1)

「新たな医療事故調査制度の下での院内対応はどうあるべきか」

オルガナイザー: 井上清成弁護士

演者: 井上 清成 (井上法律事務所所長、弁護士)

柳原 三佳 (ノンフィクション作家、医療事故被害者本人・医療事故被害者家族)

辰巳 陽一 (近畿大学医学部安全管理部 教授)

宗 宏伸 (社会医療法人共愛会理事、戸畑共立病院統括副院長)

ディスカッション

概要 2015年10月1日より施行される新たな医療事故調査制度の下において、院内での対応はどのようにしたらよいのか。かつて現実に医療事故被害で実父を亡くして訴訟を行い、また、その後に自分自身もガーゼ遺残の医療事故被害を受けた柳原三佳の体験をもとにして、院内調査のあり方、患者家族との対応のあり方、医師賠償保険の用い方、再発防止策の具体化などを多角的に議論する。

午後3時30分～午後5時30分

医療安全パネル討論会(2)

「医療事故・アクシデントの治療経験について」

オルガナイザー: 長尾 能雅 (名古屋大学附属病院副院長、同医療の質と安全部教授)

演者: 遠山 信幸 (自治医科大学さいたま医療センター医療安全管理室長)、斎藤 拓朗 (福島県立医科大外科学教授)、水本 一弘 (和歌山県立医科大学医療安全推進室教授)、伊藤 全哉 (名古屋大学整形外科学病院助教)

ディスカッション

概要: 医療事故発生時に医療安全管理部門を中心に部門横断的な連携を行い、救命、原状回復を可能とした事例について討論する。

(第2会場) 9月21日 (医学部鉄門記念講堂)
―― 医療安全コミュニケーション、医療安全コーチング ――

午前9時20分～午前10時30分 医療安全パネル討論会(3)
「チーム医療での臨床コミュニケーションの実態と課題」

オルガナイザー: 荒木 登茂子(九大)

1. チーム医療における臨床コミュニケーションの実態と課題
荒木 登茂子 (九州大学心療内科、元九州大学医療経営・管理学講座教授)
 2. 職員間のコミュニケーション問題への対応―インシデント報告にみる職員間のコンフリクト
松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長)
 3. 自宅退院をめぐる入院先と在宅療養支援者とのコミュニケーション
石松 昌也 (川崎市役所ソーシャルワーカー)
- ディスカッション

午前10時30分～午前12時 医療安全パネル討論会(4)
「院内での医療安全専任実務家の育成方法とその院内での役割」

オルガナイザー: 井俣 彰夫 (福井大病院医療安全・医療倫理学教授)

- 演者:
- 丸木 ひろみ (福井大学病院医療環境制御センター 医療安全管理部GRM)
 - 安田 あゆ子 (名古屋大学病院医療の質・安全管理部副部長 専任医療安全管理者)
 - 宮崎 浩彰 (関西医科大学 医療安全管理センター副センター長)
 - 海渡 健 (東京慈恵会医科大学付属病院 医療安全推進室長)
- ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時30分 医療安全パネル討論会(5)
「コーチングによる医療組織の活性化と医療安全」

オルガナイザー: 出江 紳一 (東北大)

1. 医療組織におけるコーチングの活用
出江 紳一 (東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野教授)
 2. 安全管理者と医療者のコミュニケーション: コーチングスキルを活用する
松村 由美 (京都大学医学部附属病院医療安全管理室室長)
 3. 名古屋第二赤十字病院での取り組みと成果
石川 清 (名古屋第二赤十字病院病院長)
 4. 海老名総合病院での取り組みと成果
内山 喜一郎 (海老名総合病院病院長)
- ディスカッション

午後3時30分～午後4時30分 **教育講演(3)** 「医療事故時の患者と医療者への心のケアをどうするか」
荒木 登茂子 (九州大学心療内科、元九州大学医療経営・管理学講座教授)

午後4時30分～午後5時30分 **教育講演(4)** 「TeamSTEPS とは何か」
辰巳 陽一 (近畿大学医学部付属病院医療安全管理部部長、教授)

(第3会場) 9月21日 (医学部2号館本館1階講堂)
—— 医療機器安全 / 臨床医安全 / リスク情報 ——

午前9時30分～午前12時 医療機器安全パネル討論会 「人工体外循環などの適正使用」

オルガナイザー: 許 俊鋭 (東大病院重症心不全治療開発講座教授)

1. 体外循環に関わる医療安全元年:2001年「陰圧吸引補助脱血回路のトラブル」に対する3学会合同陰圧吸引補助脱血体外循環委員会報告より
許 俊鋭 (東京都健康長寿医療センター、東京大学重症心不全治療開発講座)
 2. 体外循環回路にかかわる合併症(破損、気泡混入、心筋保護回路、陰圧吸引)
関口 敦 (埼玉医科大学国際医療センターMEサービス部)
 3. 心臓血管外科手術野で生じたトラブルと体外循環合併症(送脱血管、大動脈解離、出血)
百瀬 直樹 (自治医科大学さいたま医療センター)
 4. 体外循環トラブルシューティング実技セミナーの意義
富澤 康子 (東京女子医大心臓外科)
 5. 体外循環技術認定士制度と体外循環合併症対策(トラブル時の心構え)
見目 恭一 (埼玉医科大学保健医療部)
- ディスカッション

午前12時～午後1時30分 昼食

午後午後1時30分～午後2時30分 一般演題(口演): 臨床医学の安全管理(1)

座長: 井隼 彰夫 (福井大病院医療安全・医療倫理学教授)

- (CS0-01) 安全の具現化に期待される臨床での人間工学展開法 ～透析のタスク遂行を例に～
鈴木 聡 (神奈川工科大学 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科)
- (CS0-02) Safety Net での呼吸数モニタリングによる安全性向上への取り組み
小西康司²⁾ 川西秀明²⁾、塩田 隆²⁾、岩下裕一²⁾ ³⁾、萱島道徳²⁾、田中麻理³⁾、
石川しのぶ³⁾ 古家 仁¹⁾、川口昌彦³⁾
奈良県立医科大学附属病院¹⁾ 医療技術センター²⁾、医療安全推進室³⁾
- (CS0-03) 手術室における5Sに基づいた在庫管理への取り組み
小澤真子 (医療法人五星会 菊名記念病院 手術室)
- (CS0-04) 救急におけるKYT(危険予知トレーニング)の有効性
小山田聖子 大高紀代美 深澤裕子 田中早苗 津久井はるみ 鈴木保江 吉成美津子
那須赤十字病院

午後午後2時30分～午後3時30分 教育講演(5) 「リスク可視化の基本的な方法」

(座長) 酒井亮二 日本医療安全学会理事長

講師 伊藤 貴之 (お茶の水女子大学理学部情報科学科教授)

(概要) 医療機関内部に潜在する事故リスクを未然に可視化することが不可欠である。リスク可視化の基本原則と方法を学習する。

午後3時30分～午後5時 リスク情報パネル討論会(1)
「医療安全・医薬品安全におけるビック・データ解析」

オルガナイザー: 酒井亮二 日本医療安全学会理事長

1. 医療安全への導入事例 高井雄二郎 (東邦大学医療センター大森病院電子情報委員会 委員長) 40分
2. ビッグデータ活用を成功に導くための正しいアプローチ方法とIT基盤
中林 紀彦 (日本アイ・ビーエム株式会社 ソフトウェア事業本部) 40分

ディスカッション 10分

(概要) 日々報告される膨大な数の各種インシデント・レポート、医薬品リスク情報など、医療には膨大なデータが存在する。それらの巨大データを分析するには、情報科学の最先端技術であるビック・データ解析をどのように使用すべきかを学習する。

(第4会場) 9月21日 (医学部2号館本館3階講堂)
—— 臨床医学安全 / 医薬品安全 ——

午前9時30分～午前10時30分 特設記念パネル討論会
「診療関連死の死因究明のあり方」

(趣旨) 医療事故調査関連法案の国会決議にとまない、医療事故調査のあり方を解剖医の立場から提言する。
座長: 深山 正久 (日本病理学会理事長、東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学分野教授)

(SPO-01) 診療関連死の調査分析における解剖の意義: 「モデル事業」福岡地域での試み (30分)
居石克夫

九州大学名誉教授(病理学)、国立病院機構 福岡東医療センター研究教育・病理部、
福岡徳洲会病院 病理診断センター

(SPO-02) 入院中の突然死症例における病理解剖の有用性の検討 (15分)
阿部浩幸¹、池村雅子¹、新谷裕加子¹、五ノ井渉²、深山正久¹
東京大学医学部附属病院 1 病理部 2 放射線科

ディスカッション (15分)

午前10時30分～午前12時 一般演題(口演): 臨床医学の安全管理(2)

座長: 楠本 茂雅 (ベルランド総合病院医療安全管理室室長)

(CSO-05) 高度管理医療機器カラーコンタクトレンズの現況 (2014)
宮本裕子^{1, 2)}、月山純子¹⁾、福田昌彦¹⁾、下村嘉一¹⁾

1) 近畿大学医学部眼科学教室 2) アイアイ眼科医院

(CSO-06) 当院の中央材料室におけるステラッド滅菌器設置と効率化について
白川 達人 (医療法人社団 松弘会 三愛病院 中央材料室)

(CSO-07) 反復した類似するインシデント報告の解析とその対応策～検査科技師の視点から～
大森美恵子 (医療法人筑波記念会 筑波記念病院 検査科)

(CSO-08) 小児・周産期専門病院におけるインシデントレポートの分析
橋本圭司、宇田川恵里子、金子 剛、賀藤 均

国立成育医療研究センター 医療安全管理室

(CSO-09) 緩和ケア科を有する当センターの来院時心肺停止患者に対する適正な対処について
森田沙斗武¹⁾²⁾、河原邦光²⁾、五十嵐美幸²⁾、太田三徳²⁾、川瀬一郎²⁾

1) 滋賀医科大学社会医学講座法医学部門、2) 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

(CSO-10) 末梢静脈点滴の血管外漏出に関する患者側の要因分析
ーインシデントレポートからの分析ー

濱本 龍 (国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 救命救急センター)

午前12時～午後1時30分 昼食

午後1時～午後2時30分 医薬品安全パネル討論会(1) 「薬剤師による医薬品安全管理の現状と課題」

オルガナイザー: 清野 敏一 (平成帝京大学薬学部教授、前東大病院副薬剤部長)

飯田 純一 (済生会横浜市南部病院 薬剤部 課長)

大原 志歩 (済生会横浜市東部病院 TQMセンター医療安全管理者 看護師長)

秋本 義雄 (東邦大学薬学部医療薬学教育センター薬事法学研究室 准教授)

ディスカッション

午後2時30分～午後4時 医薬品安全パネル討論会(2) 「医薬品投与量のエラーを防ぐ新たな対策」

オルガナイザー: 島崎 信夫 (国際親善総合病院医療安全管理室)

河田 健司 (藤田保健衛生大学医学部臨床腫瘍科教授)

林 政和 (東海大学医学部附属八王子病院薬剤科係長)

宮崎 工 (株式会社タカゾノ常務取締役・経営企画室長)

ディスカッション

(第5会場) 9月21日 (医学部1号館本館1階講堂)
—— 医療安全 / 臨床検査安全 ——

午前10時30分～午前12時 医療安全パネル討論会(6)
「院内エラーレポートの収集・分析・報告のあり方の見直し」

司会: 鉄永 倫子 (岡山大学病院医療安全管理部)
平松智子 (総合新川橋病院医療安全管理室)
宮内 紀子 (茨城県立中央病院 医療安全管理対策室)
鉄永 倫子 (岡山大学病院医療安全管理部)
ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時 一般演題(口演): 医療機器の安全体制

座長: 酒井 基広 (東京女子医科大学付属病院、東京都臨床工学技士会会長)
(ME0-04) 医療機器安全管理体制の構築
工藤 絢子 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 臨床工学室)
(ME0-05) CEを専従医療安全管理者とする体制構築とその展望
○清水 潔、下田 知佳、有田 哲正
熊本市医師会 熊本地域医療センター 医療安全推進室
(ME0-06) 医療機器点検アウトソーシングに向けての業務分析と業務工定数改善
～医療機器安全管理における院外業者との連携に向けて～
西本 拓真 (近畿大学医学部附属病院 臨床工学部)
(ME0-07) 当院の医療機器安全の取り組み
森光 祐輔 (新古賀病院 臨床工学部)
(ME0-08) ME機器の勉強会の参加率アップの取り組み
○大巻 さやか・武井 朋己
医療法人五星会 菊名記念病院
(ME0-09) 当院の医療機器管理
仲川 和寿 (北海道循環器病院 臨床工学科)

総合討論 20分間

午後3時～午後5時30分 臨床検査安全パネル討論会
「検査業務の安全管理の現状と課題」 各30分

司会: 八木 一夫 (北里大学病院臨床検査部)
病理検査業務の安全 當 銘 良也 (つくば国際大学医療保健学部)
輸血検査業務の安全 上村 知恵 (慶應義塾大学病院中央臨床検査部、前同病院輸血・細胞療法部)
感染症検査業務の安全 三澤 成毅 (順天堂大学病院臨床検査部)
北里大学病院臨床検査部におけるリスクマネジメント活動について
八木 一夫 (北里大学病院臨床検査部)
ディスカッション

(第6会場) 9月21日 (医学教育研究棟13階第6セミナー室)

—— 看護安全 ——

午前10時30分～午前12時 看護安全パネル討論会(1) 「多職種による看護安全のすすめ方」

オルガナイザー: 新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

- パネリスト① 薬剤師の立場から 島崎 信夫 (国際親善総合病院 医療安全管理室)
- ② 臨床工学技士の立場から 大森 正樹 (国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター ラボマネージャー)
- ③ 臨床検査技師の立場から 瀧澤 千里 (菊名記念病院 臨床検査科課長)
- ④ 看護師の立場から 新村 美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理室)
- ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時 看護安全パネル討論会(2) 「チーム STEPPS で紡ぐ伝える心と文化」

司会: 西隈 菜穂子 (近畿大学医学部奈良病院・看護部長)

講演: 英語の嫌いな人まで沁み込め チーム STEPPS

- 実原 恵美子 (近畿大学医学部附属病院・医療安全対策室主任)
- やっとなあかんよ！チーム STEPPS ～研修導入の現状～
- 福岡 佳詠 (近畿大学医学部堺病院・医療安全管理室・医療安全管理専任者・看護師長)
- チーム STEPPS 拡大中 ～看護部から始めています～
- 柏野 令子 (近畿大学医学部奈良病院・医療安全管理室・医療安全管理専任者・看護師長)
- 落合 孝充 (近畿大学医学部奈良病院・医療安全管理室・医療安全管理専従者・薬剤師)
- ディスカッション

午後3時～午後5時 看護安全パネル討論会(3) 「看護安全のための地域連携はどうあるべきか」

オルガナイザー: 土屋 和子 (久里浜クリニック医療安全管理者)

- パネラー ① 角山 桂子 (みはま病院 透析室師長)
- ② 土屋 和子 (久里浜クリニック 看護科長)
- ③ 新村 美佐香 (菊名記念病院 医療管理者)
- ④ 梅本 明子 (ひがし青梅腎クリニック 係長代)

ディスカッション

(第7会場) 9月21日 (医学教育研究棟13階第7セミナー室)
—— 医療安全 / その他 ——

午後1時～午後3時 医療安全パネル討論会(7)

「医療安全管理者を長期継続する際の悩みと回復方法」

司会: 三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院医療安全推進課課長)
松田 理恵 (小倉医療センター医療安全管理者)
馬場 文子 (福岡東医療センター医療安全管理者)
水元 明裕 (東海大学付属病院医療安全管理者)
三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院医療安全推進課課長)
ディスカッション

午後3時～午後3時45分 一般演題(口演): 医療安全(1) —— 多職種での取り組み

座長: 宮崎 浩彰 (関西医科大学附属枚方病院医療安全管理センター副センター長 准教授)
(PS0-101) 医療安全管理体制の実態と医療安全管理者研修のあり方に関する調査
北野 達也 (星城大学大学院 健康支援学研究科 医療安全管理学講座 教授)
(PS0-102) 中小規模病院の医療安全研修～グループワーク研修を中心に～
○永濱真代 (看護師)、益田昌史 (放射線技師)、和田匡央 (薬剤師)、
石田由紀子 (看護師)、藤本貴久 (医師)
社会福祉法人恩賜財団 済生会みすみ病院 医療事故防止対策委員会
(PS0-103) 多職種の協働・連携による AED 安全教育に関する検討
渡邊雅俊 (国家公務員共済組合連合会 東海病院 臨床工学科)

(第8会場) 9月21日 (医学教育研究棟13階第8セミナー室)
—— 医療安全 ——

午後1時～午後4時 ワークショップ 医療安全に関する中堅・若手の会
「医療安全への私の取り組み」

趣旨: 日本医療安全学会の中堅・若手によって医療安全の未来を討論する。

座長: 佐々木 毅 (東大医病理学准教授)、鳥谷部 真一 (新潟大学危機管理本部教授)

口演: 各人10分

藤井 千枝子 (慶應大看護医療学部教授)

西隈 菜穂子 (近畿大学医学部奈良病院看護部長)、

佐藤 慶太 (鶴見大学歯学部法歯学准教授)

高橋 俊之 (東京歯科大学医療安全管理室長、総合診療科准教授)

宮本 智行 (東京医科歯科大歯学部助教)

小林 肇 (東京フェリシアレディースクリニック)

富永 英一郎 (慶應大産婦人科講師)

渡部 一宏 (昭和薬科大准教授)

坂井 信幸 (神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科部長)

島崎 信夫 (国際親善総合病院医療安全室室長)

星 真哉 (クローバーホスピタル)

宮崎 浩彰 (関西医科大学附属枚方病院医療安全管理センター副センター長 准教授)

楠本 茂雅 (ベルランド総合病院医療安全管理室室長)

佐藤光利 (東邦大学薬学部准教授)

その他

ディスカッション

午後4時～午後4時30分 一般演題(口演): 歯科医療安全

座長: 高橋 俊之 (東京歯科大学医療安全管理室長、総合診療科准教授)

(DNO-101) 石川県歯科医師会における医療安全講習会の現状

高木純一郎¹⁾, 藤邑守成²⁾, 大野弘毅²⁾, 横川一郎²⁾, 津田多利²⁾, 高 敏洋²⁾,
本村欣也²⁾, 名倉 功¹⁾, 宮田 勝¹⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科 2) 石川県歯科医師会医療管理部

(DNO-102) 岡山大学病院における医師・歯科医師のインシデントレポート報告の向上を目指して

鉄永倫子 1, 2, 6) 岩月啓氏 1, 5)、丸山雅道 1, 3)、森田幸子 1, 3)、檜崎真理子 1, 2)、
岡崎安洋 1)、中道博之 1)、白井肇 1, 4)、柳文修 1, 4)、江草正彦 1, 4)、尾崎敏文 5, 6)

1) 岡山大学病院医療安全管理部、2) 医師(GRM)、3) 看護師(GRM)、4) 歯科医師、
5) 岡山大学病院副病院長 6) 岡山大学病院整形外科

(第9会場) 9月21日 (医学教育研究棟13階第5セミナー室)
—— 看護安全 / 臨床医学安全 ——

午前10時30分～午前12時 看護安全パネル討論会(4)
「看護安全に関する教育・研修のあり方を振り返ってみよう」

オルガナイザー: 土屋 和子 (久里浜クリニック医療安全管理者)

- パネリスト① 大坪まゆ美 (衣笠病院 副看護部長)
- ② 峰村尚子 (太田総合病院 医療安全管理室 医療安全管理者)
- ③ 平野佳穂 (東芝林間病院 副看護部長)
- ④ 石江美佐 (逗子桜山クリニック 安全管理委員)

ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後3時 看護安全パネル討論会(5) 「看護安全分野のリーダーにふさわしい資質は何か」

オルガナイザー: 新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

- パネラー ① 新村美佐香 (菊名記念病院 医療安全管理者)
- ② 有山ちあき (済生会神奈川県病院 医療安全管理室 医療安全管理者)
- ③ 湊 哲子 (戸塚共立第1病院 医療安全管理室 医療安全管理者)
- ④ 濱 悦子 (丘整形外科病院 看護部長)

ディスカッション

午後3時～午後4時30分 一般演題(口演): 臨床医学の安全管理(3)

座長: 坂井 信幸 (神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科部長)

- (CS0-11) 脳神経領域における画像診断所見見落としの実例と対策
平井 収 (神鋼病院脳神経外科・医療安全管理室)
- (CS0-12) 当院における周術期肺塞栓症予防の取り組みと今後の安全管理における対策
保田知生, 柳生行伸, 塩川泰啓, 山田明子, 辰巳陽一, 池上博司, 竹山宜典, 奥野清隆
近畿大学医学部附属病院安全管理部, 近畿大学医学部外科
- (CS0-13) 院内PHC向けの緊急時一斉メールシステムの導入
ー ICT技術の導入は産科緊急時のリスク回避に有用か? ー
杉田匡聡 (N T T 東日本関東病院 産婦人科)
- (CS0-14) 胃がん検診内視鏡による下咽頭損傷事例の解析から明らかにされた情報処理及び
チーム医療の問題点について
土橋康成 (財)レイ・パストゥール医学研究センター 臨床病理研究部)
- (CS0-15) がん化学療法終了後患者における免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策
平島正樹¹、伊藤浩樹²、八木祐子¹、野村洋道¹、中西真也¹、松下章子³、橋田亨¹
神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部¹、医療情報部²、血液内科³

(第10会場) 9月21日 (伊藤国際学术交流センター地下2階 多目的ホール)
ポスター発表

午前10時～午後5時: ポスター掲示時間
午後4時～午後5時: ポスター質疑応答
ポスターは当該演題番号のパネルを使用ください。
ポスター発表者は上記時間帯に当該ポスター脇にて参加者と質疑応答を行ってください。

司会: 藤井 千枝子 (慶應大看護医療学部教授)、渡部 一宏 (昭和薬科大准教授)

ポスター:医薬品安全分野:9月21日

(DRP-01) 医薬品安全管理責任者による「簡易型なぜなぜ分析シート」の運用と評価

○奥田佳子¹ ○高岡恭治²

¹医療法人社団岡山会九州記念病院医薬品安全管理責任者

²医療法人社団岡山会九州記念病院医療安全管理者

(DRP-02) 内服管理の統一化を図るー内服カートを導入して

古泉弘恵 坂上嘉浩、落合直子

大阪府立急性期・総合医療センター

(DRP-03) 透析患者の薬剤管理指導

米倉明子、森下倫子、下村克彦、岡田吉晴、松本昭英

医療法人社団星晶会 あおい病院

ポスター:歯科医療安全分野:9月21日

(DNP-01) 歯科医療従事者を対象とした個人特性・活力測定結果を利用するメンタルヘルス
ケアマネジメント

○升谷滋行¹⁾, 橋本光二²⁾, 宮崎真至¹⁾

1) 日本大学歯学部歯科保存学第I講座, 2) 同歯科放射線学講座

(DNP-02) 歯科診療における誤飲・誤嚥対策防止策として歯科技工物に付与したリングノブに対する調査

○白井 肇 1, 2, 5)、柳 文修 1, 2)、丸山雅道 1, 3)、森田幸子 1, 3)、鉄永倫子 1, 4)、
江草正彦 1, 2)、瀬島淳一 6)、岩月啓氏 1, 4, 7)、鳥井康弘 2, 5)、飯田征二 2, 7)

1) 岡山大学病院医療安全管理部、2) 歯科医師、3) 看護師 (GRM)、4) 医師 (GRM)、

5) 岡山大学病院卒後臨床研修センター歯科研修部門

6) 岡山大学病院医療技術部歯科部門技工室、7) 岡山大学病院 副病院長

ポスター:医療機器安全分野:9月21日

(MEP-01) 医療機器安全管理における中央管理体制への取り組みと運用

御園恒一郎 (日本医科大学千葉北総病院 ME部)

(MEP-03) ショック適応患者に対しショック不要と判断した自動体外式除細動器についての一考察

福村浩一、小森正実、小串美由紀、上岡将之、堀井京子、細川正浩、小橋和彦

JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 臨床工学部

(MEP-04) モニターアラームコントロールチームのアラームの無駄鳴り低減への取り組み

鈴木三弥子、松崎尚志、松岡さおり、長田浩枝、平田雅彦、道越淳一

財団法人平成紫川 小倉記念病院 安全管理部 看護部 検査技師部 (ME)

(MEP-05) 内管のリーク検査が可能な同軸呼吸回路

成沢朋広 (泉工医科工業株式会社)

(MEP-06) 医療機器の安全対策について気管切開チューブの具体的事例の紹介

齋藤真樹 (泉工医科工業株式会社 開発部)

(MEP-07) 透析状況の変化に対応するためのスタッフの判断事項明確化

前田佳孝 1), 鈴木聡 2), 小松原明哲 3)

1) 早稲田大学創造理工学研究科, 2) 神奈川工科大学創造工学部, 3) 早稲田大学理工学術院

ポスター:その他の医療安全分野:9月21日

(PSP-01) 医療者説明と患者同意に関する医療情報管理システムの開発とその有用性

添田博充¹ 竹久保好勝²

1 医療法人添田歯科医院 2 弁護士法人小田原三の丸法律事務所

(PSP-02) リネン類に汚染した細菌芽胞の洗浄について

石原由華、社本衣恵、太田美智男

相山女学園大学看護学部

(PSP-03) 在宅患者の住環境安全性の調査と考察

澁谷 富雄 (東京大学医学部臨床指導医 北柏ファミリークリニック)

(PSP-04) NBC Hazards, 主に原子力発電所災害と医療安全

原口義座、星野正巳、友保洋三、西法正、津端徹

京葉病院・災害医療大系編纂グループ

学術発表プログラム

(第2日)

2014年9月22日(月)

(第1会場) 9月22日 (伊藤国際学術研究センター地下2階謝恩ホール)
—— 医療安全 ——

受付開始 午前8時

総

午前9時～午前9時30分 官庁講演(2)

司会 海野雅浩 (総会共同会長、東京医科歯科大学名誉教授)
医療安全の動向 大坪 寛子 (厚労省医政局総務課医療安全推進室長)

午前9時30分～午前10時 教育講演(6) 人工呼吸器の適切な使用方法

司会 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院医療安全管理部部長、教授)
廣瀬 稔 (北里大学医療衛生学部臨床工学専攻教授、総会副会長)

午前10時～午前10時30分 教育講演(7) 周産期医療における安全対策

司会 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院医療安全管理部部長、教授)
吉村 泰典 (内閣参与、慶應義塾大学名誉教授、日本産科婦人科学会前理事長)

午前10時30分～午前12時 医療安全パネル討論会(8)「ダブルチェックは有効か?多様な視点での再考」

オルガナイザー: 松村 由美 (京大病院医療安全管理室)

シンポジスト: 松村 由美 (京大)「無効なダブルチェック?現状の課題」

新村 美佐香 (菊名記念病院)「勤務歴の浅い医療従事者のエラーを防ぐダブルチェック」

小松原 明哲 (早稲田大)「ダブルチェックする気を出させるマネジメントとは?」

ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時 教育講演(8) 高齢者医療における医療安全

司会 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院医療安全管理部部長、教授)
秋下 雅弘 (東京大学大学院医学系研究科加齢医学教授)

午後2時～午後3時30分 医療安全パネル討論会(9)

「医療安全文化を市民と共に創る(市民と作る医療安全のかたち:第1回)」

企画責任者: 酒井亮二 日本医療安全学会理事長

(第1回テーマ)「伝えたい、医療事故被害者たちの再発防止への願い」

オルガナイザー: 勝村 久司 (医療情報の公開・開示を求める市民の会代表世話人)

1. 医療事故被害者たちが求めてきたことと、産科医療補償制度で分かったこと。

勝村 久司 (産科医療補償制度再発防止委員会委員、元厚生労働省医療安全対策検討WG委員)

2. 事故を再発防止につなげるための医療事故調のあり方について

永井 裕之 (東京都立広尾病院事件被害者遺族、患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表世話人)

3. 医療裁判に寄り添って分かったこと

木下 正一郎 (弁護士、医療問題弁護団副幹事長、医療版事故調推進フォーラム 事務局長)

ディスカッション

座長: 大熊由紀子 (国際医療福祉大学大学院教授 大阪大学元教授、朝日新聞元論説委員)

(第1会場) 9月22日 (伊藤国際学術研究センター地下2階謝恩ホール)
—— 医療安全 ——

午後3時30分～午後4時 教育講演(9) ハイリスク医療から医療安全部門への要望
—— 心臓外科医の立場から

司会 辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院医療安全管理部部长、教授)
小野 稔 (東大病院心臓外科学教授)

午後4時～午後5時30分 医薬品安全パネル討論会(3)
「医薬品安全に関する多職種間の連携はどうあるべきか」

オルガナイザー: 佐藤光利 (東邦大学薬学部)

1. 医薬品安全における病院内連携－医師の立場からの意見－
高田 伸夫 (東邦大学医療センター佐倉病院医療安全管理室)
2. 病院における医薬品安全に関する連携の実際
真坂 互 (東邦大学医療センター佐倉病院薬剤部長)
3. 医薬品安全管理における他職種連携の重要性－看護師の立場から－
中澤 恵子 (東邦大学医療センター大森病院医療安全管理部副部長)
4. 在宅医療の実際と医薬品安全に関する多職種連携－薬剤師の役割－
大木 一正 (東京都薬剤師会常務理事)
5. 地域医療での多職種連携における薬剤師の役割－最近の行政の動き－
大橋 佳奈 (厚生労働省医薬食品局総務課薬事専門官)

ディスカッション

午後5時30分 全体閉会

(第3会場) 9月22日 (医学部2号館本館1階講堂)
―― 医療安全 / 臨床医学安全 / 医療機器安全 / 情報リスク ――

午前9時15分～午前11時 一般演題(口演): 医療安全(2) ―― 事故調査の方法と成果

座長: 高橋 俊之 (東京歯科大学医療安全管理室長、総合診療科准教授)

- (PSO-201) 反復した類似するインシデント報告の解析とその対応策～医療安全管理者の視点から～
久保田静子 (医療法人社団 筑波記念会 筑波記念病院 医療安全推進室)
- (PSO-202) 医師が報告したインシデント・アクシデント ～2013年1年間、医師は何を報告したのか～
遠山治彦 (東神戸病院)
- (PSO-203) 医師インシデントレポート数増加に向けた対策と結果
○種井隆文^{1,2}、香川陽子¹
1. 名古屋セントラル病院 安全管理室、2. 名古屋セントラル病院 脳神経外科
- (PSO-204) インシデント分析からみえた発生要因と実態 ～要因から見えた、安全教育のタイミング～
竹内なぎさ (社団法人啓愛会 孝仁病院)
- (PSO-205) 事故報告書からみた医療事故発生の要因としてのノンテクニカルスキル (NTS)
浦松雅史¹、藤澤由和²、相馬孝博³、三木 保¹、和田 淳¹、
小松原 明哲⁴
1) 東京医科大学医療安全管理学講座、2) 静岡県立大学経営情報学部、
3) 榊原記念病院、4) 早稲田大学理工学術院
- (PSO-206) インシデントレポートの分析により転倒リスクが低減
～シンプルな2つの方法で まず取り組むことが大切～
安川英孝 (医療法人すこやか 高田中央病院)
- (PSO-207) インシデントレポートのオンライン報告集計システム ～ 当院開発例の紹介 ～
野口 宰 (第二協立病院 内科)

午前11時～午前12時 一般演題(口演): 医療機器の安全管理

座長: 廣瀬 稔 (北里大学医療衛生学部臨床工学専攻教授)

- (ME0-01) 医療施設における非常用電気設備の運用解析
水野裕志、高森良知*、岸川忠弘、清山浩司、田中義人
長崎総合科学大学大学院 新技術創成研究所、
*長崎県病院企業団 長崎県島原病院 臨床工学室
- (ME0-02) モニター関連医療事故防止の取り組み ～アラームの無駄鳴りを減らす～
松本裕則¹ 杉崇史¹ 吉本和輝²
京都山城総合医療センター麻酔科¹ 京都山城総合医療センター臨床工学室²
- (ME0-03) 汎用輸液ポンプ使用時のライン閉塞における医療機器安全性の確保に関する検討
廣岡大輝、塚本 功、土屋陽平、松田真太郎、島田啓介、坂下浩太、葉 秀寿、
干川祐樹、田中 慧、関口敦
埼玉医科大学 国際医療センター ME サービス部
- (ME0-10) ME 機器センターにおけるポンベ管理運用について
塚本伶央奈¹、山田文哉¹、山本尊義¹、川上千晶¹、萬家俊博²
愛媛大学医学部附属病院 ME 機器センター¹、手術部²

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時30分 リスク情報パネル討論会(2)

「ICU/CCU 部門システムと HIS 電子カルテベンダーシステムの情報相互接続性の問題と対策」

オルガナイザー: 松村由美 (京大病院医療安全管理者)

講師: 松村 由美 (京大病院医療安全管理者)、澤 智博 (帝京大学医療情報システム研究センター教授)

ディスカッション

(概要) 基幹部門の電子カルテと重症部門コンピューターシステム(バイタルサイン用)の情報連携における不具合は甚大な医療ミスにつながるので、その実態とその調整方法を病院の事例を踏まえて検討する。

午後2時30分～午後4時20分 臨床医学安全パネル討論会 「症例より学ぶ産婦人科危機管理の問題」

オルガナイザー 高松潔 (東京歯科大学市川総合病院 産婦人科 教授)

富永英一郎 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 講師)

パネリスト

- 1 富永英一郎 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 講師) 『婦人科』
- 2 戸澤晃子 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学教室 講師) 『婦人科』
- 3 田嶋敦 (順天堂大学医学部附属浦安病院 産婦人科 准教授) 『周産期』
- 4 浜谷敏生 (慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 講師) 『生殖医療』
- 5 小川真里子 (東京歯科大学市川総合病院 産婦人科 講師) 『女性医学』
- 6 ディスカッション

概要: 産婦人科における4部門(婦人科腫瘍、周産期、生殖医療、女性医学)において発生した事例を元に問題点を検証し、産婦人科危機管理について総合的に討論する。

(第4会場) 9月22日 (医学部2号館本館3階講堂)
—— 医療安全 / 医薬品安全 ——

午前9時30分～午前10時30分 一般演題(口演): 医療安全(3) —— 新たな取り組みの事例

座長: 小林 肇 (東京フェリシアレディースクリニック)

- (PS0-301) Rapid Response System 導入による医療安全の実現
児玉貴光 (聖マリアンナ医科大学 救急医学)
- (PS0-302) HRO (High Reliability Organization: 高信頼性組織) になるために、組織として取り組むべ
医療安全推進策 ～慈恵医大附属病院での取り組み～
海渡 健(1)、藤原喜美子(1)、北條文美(1)、島崎博士(1)、小川武希(1)、落合和徳(2)
(1) 東京慈恵会医科大学附属病院医療安全推進室、(2) 東京慈恵会医科大学
- (PS0-303) 医療安全を実現させるシミュレーションセンター運営
万代康弘、谷本光音
岡山大学医療教育統合開発センター

午前10時30分～午前12時 一般演題(口演): 医療安全(4) —— 日常活動からの報告

座長: 星 真哉 (クローバーホスピタル)

- (PS0-401) 医療安全への取り組み
平山ツナエ (山本記念病院)
- (PS0-402) 医療安全に関する卒前教育プログラムの意義と課題
旗手俊彦 (札幌医科大学医療人育成センター)
- (PS0-403) リスクマネージャーが医療安全業務に従事できる時間の確保の必要性
植田信策、阿部清美、八木せい子
石巻赤十字病院呼吸器外科、同 医療安全推進室
- (PS0-404) 当院の転倒転落防止活動におけるチェックシート活用の試み
○花田一志 1)、西本拓真 2)、高橋直美 3)、杉谷竜司 1)、松居大樹 3)、山田明子 3) 4)、
三井良之 4)、辰巳陽一 4)、福田寛二 1)
1) 近畿大学医学部附属病院リハビリテーション科、
2) 近畿大学医学部附属病院臨床工学部、3) 近畿大学医学部附属病院看護部、
4) 近畿大学医学部附属病院医療安全対策室安全管理部
- (PS0-405) 転倒報告書によるリスク要因分析にもとづくアセスメントスコアシートの再評価
橋口茂代¹⁾ 山田一朗²⁾
1) 赤穂市民病院 看護部 2) 臨床研究支援センター(Office AKI)
- (PS0-406) 医療安全—福島第一原発事故からみえる安全の限界
大城孟^{1) 2)}、大城良太^{1) 2)}、大城智弥²⁾
1) 大阪市東住吉区医師会、2) おおしろクリニック

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時30分 医薬品安全パネル討論会(4) 「医薬品安全管理のための地域連携のあり方」

オーガナイザー: 橋田 亨 (神戸市立医療センター中央市民病院院長補佐・薬剤部長)

1. 入院前薬剤師外来による常用薬確認と処方提案 (仮題)
奥貞 智 (神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)
 2. 療養病床における医薬品安全管理 (仮題)
棗 則明 (総泉病院 薬局長)
 3. 在宅医療における医薬品安全管理 (仮題)
孫 直孝 (ファーマシイ 在宅推進部)
- ディスカッション

**午後2時30分～午前4時 医薬品安全パネル討論会(5)
「多職種チーム医療による新しい医薬品アレルギー対策」**

オーガナイザー: 大谷 道輝 (東京通信病院 副薬剤部長)

1. アレルギー対応における薬学的アプローチ
大谷 道輝 (東京通信病院 副薬剤部長)
 2. 抗がん薬のアレルギー対策
川上 和宜 (がん研有明病院 薬剤部)
 3. 病棟看護における医薬品アレルギー対応
土屋 和子 (久里浜クリニック医療安全、看護科長)
- ディスカッション

(第5会場) 9月22日 (医学部1号館本館1階講堂)
—— 歯科医療安全 ——

午前9時～午前10時30分 歯科医療安全パネル討論会(1) 「歯科での重大事故事例」

オルガナイザー: 丹羽 均教授 (大阪大学歯科麻酔学教授、副院長)

1. 歯科での医療事故の概要
半田 俊之 (東京歯科大学水道橋病院 口腔健康臨床科学講座歯科麻酔分野
歯科麻酔科口腔顔面痛みセンター・講師)
2. 大学病院歯科・開業歯科における重大事故事例
丹羽 均 (大阪大学大学院歯学研究科高次脳口腔機能学講座・教授)
3. 歯科法医学の立場からみた歯科での重大事故事例
佐藤 慶太 (鶴見大学歯学部法医歯学研究室・准教授)

ディスカッション

午前10時30分～午前12時 歯科医療安全パネル討論会(2) 「口腔感染のリスクマネジメント」

オルガナイザー: 海野雅浩 (東京医科歯科大学名誉教授、副総会長)

1. 口腔感染症の病原機構
泉福 英信 (国立感染症研究所細菌第一部第六室・室長)
2. 口腔感染症の予防と対策
金子 明寛 (東海大学医学部口腔外科学講座・教授)
3. 口腔ケアと感染予防
角 保徳 (国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター・部長)

ディスカッション

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時30分 歯科医療安全パネル討論会(3) 「誤飲・誤嚥の正しい対応方法」

オルガナイザー: 白川哲夫 (日本大学歯学部付属歯科病院長、教授)

1. 高齢者歯科での誤飲・誤嚥への対応
下山 和弘 (東京医科歯科大学歯学部 教授)
2. 誤飲・誤嚥への歯科麻酔医の対応
松浦 信幸 (東京歯科大学 歯科麻酔学講座・講師)
3. 小児歯科での誤飲・誤嚥への対応
白川 哲夫 (日本大学歯学部 小児歯科学講座・教授)

ディスカッション

午後2時30分～午後4時 歯科医療安全パネル討論会(4) 「歯科医療事故時の緊急対応のあり方」

オルガナイザー: 深山治久 (東京医科歯科大学麻酔生体管理学分野教授)

1. 歯科医療事故の特徴 (緊急対応を含めて)
深山 治久 (東京医科歯科大学大学院・教授)
2. 大学病院・病院歯科における歯科医療事故とその対応
見崎 徹 (日本大学歯学部 歯科麻酔学講座・准教授)
3. 開業歯科医院における歯科医療事故とその対応
中島 丘 (みほ歯科医院・院長)

ディスカッション

(第10会場) 9月22日 (伊藤国際学術交流センター地下2階 多目的ホール)
ポスター発表

午前10時～午後4時: ポスター掲示時間

午後3時～午後4時: ポスター質疑応答

ポスターは当該演題番号のパネルを使用ください。

ポスター発表者は上記時間帯に当該ポスター脇にて参加者と質疑応答を行ってください。

司会: 佐藤 慶太 (鶴見大学歯学部法歯学准教授)、 宮本 智行 (東京医科歯科大学歯学部助教)

ポスター:医療安全分野:9月22日

(PSP-05) インシデント報告減少の分析

鈴木佳世子 秋元ますえ

獨協医科大学病院 看護部

(PSP-06) 当院診療技術部における過去5年間のインシデント・アクシデント事例分析

月居茉莉子¹⁾、木村さゆり¹⁾、高野和男¹⁾、中島千鹿子¹⁾、手金あけみ¹⁾、内田淳一²⁾、坂本哲也²⁾、

稲葉悦子²⁾、村山章²⁾、重田暁²⁾、松川敏徳³⁾、柄澤加奈子⁴⁾

北里大学北里研究所病院 1) 診療技術部専門職 2) 診療技術部

3) 北里メディカルサービス 4) 医療安全管理室

(PSP-07) 重症心身障害児(者)施設におけるインシデント発生要因の検討

小坂美樹 (社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病院)

(PSP-08) 重症心身障害児・者の気管切開患者に関するインシデント分析からみた発生要因

小椋春美 松井美和子 野々山敦夫

愛知県心身障害者コロニー中央病院

(PSP-09) 「リスクマネジメントの為にストレスマネジメント」～からだをゆるめてリラックスに効果あり～

鈴木慎一 (社団医療法人養生会 かしま病院 医療安全管理室)

(PSP-10) 緊急同報メール(コードブルー)起動にR R S的な考え方の導入の試み

丸山雅道¹⁾、森田幸子¹⁾、檜崎真理子¹⁾、鉄永倫子¹⁾、塚原紘平²⁾、芝 直基³⁾、前川珠木⁴⁾、

森松博史⁵⁾、氏家良人²⁾、岩月啓氏^{1) 6)}

1) 岡山大学病院医療安全管理部、2) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科救急医学、

3) 岡山大学医療教育統合開発センター、4) 岡山大学病院看護部、

5) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科麻酔・蘇生学、

6) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科皮膚科

(PSP-11) 診療所から病院への規模拡大に伴う医療安全対策委員会の立ち上げの経験

小澤修太郎、宮崎富士子、田中宮子、矢部文子、小田切祐子、小辻聡、水落妙子、松岡有佳、
長谷川由香里、小鷹美夏子、鋤柄稔

シャローム病院 医療安全対策委員会

ポスター:看護安全分野:9月22日

(NSP-01) 看護学生への医療安全教育の取り組み

山田明子、実原恵美子、大磯直毅、保田知生、辰巳陽一、池上博司

近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室

ポスター:臨床医学安全分野:9月22日

- (CSP-01) 放射線診療部門におけるインシデント報告の解析
垣花泰政、平安名常一、戸板孝文、村山貞之、加治木選江*、長濱一史*
琉球大学放射線診断治療学講座, *琉球大学附属病院安全管理室
- (CSP-02) 脳血管障害患者における歩行自立度判定チャート作成の試み
竹内 奨、富永 孝紀、市村 幸盛、青木 修、村田 高穂
医療法人穂翔会村田病院
- (CSP-03) 腎機能低下患者を対象とした処方監査体制整備
○重松明美¹⁾、園田祐子¹⁾、陸丸幹男¹⁾、後藤精治²⁾、鳥越繁治³⁾、森一生¹⁾
1) 大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部
2) 株式会社 富士通九州システムズ 3) 株式会社トーショーSE 部
- (CSP-04) 造影 CT 検査における血管外漏出検知器導入の効果
宮内紀子、木島学、鎗木孝之
茨城県立中央病院 医療安全管理対策委員会
- (CSP-05) 眼科視能訓練部門における5Sを用いた医療安全の取り組み
太田しのぶ、平賀洋子、上沖修三
岩手県立中部病院
- (CSP-06) 入室直前直後からの継続した自己抜去予防を試みて
石丸香織 (東海大学医学部附属大磯病院 看護部)
- (CSP-07) 転倒・転落予防フローチャートの効果について
○長島明子、渡部樹子、田久保叔恵、中井みつ江、石田篤世、菅俊光、岩瀬正顕
関西医科大学附属滝井病院
- (CSP-08) 転倒危険度の注意説明の実施状況とその意義に関する検討
○岩田悦子¹⁾、山口仁美¹⁾、伊東洋平²⁾、秋山淳³⁾、佐野文子⁴⁾、島崎信夫⁴⁾、清水誠⁴⁾
1) 社会福祉法人 国際親善総合病院 看護部、2) 同院リハビリテーション科、
3) 同院臨床検査科、4) 同院医療安全管理室
- (CSP-09) 高機能エアーマット使用時の転落リスク低減への取り組み —ベッドサイドレールの基準化—
○堂本勝子、大磯直毅、辰巳陽一
近畿大学医学部附属病院 安全管理部
- (CS0-10) 東日本大震災による病院被災、新病院移転に伴う転倒転落発生率の変化と今後の展望
狩野 満里 (那須赤十字病院 医療安全推進室)

第1回日本医療安全学会学術総会 抄録集

第1回日本医療安全学会学術総会事務局
日本医療安全学会本部内
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
TEL/FAX: 03-3817-6770
Email: lamt@jpscs.org